

管内研 研究協議の記録

時間 10:15~11:00 司会 近藤 記録 門田

	シナリオ	
はじめの言葉	これから、研究協議を始めます。司会を担当します。近藤です。よろしくおねがいします。	○全員そろっていることを確かめる
助言者紹介	今日の研究協議にあたり、助言をしてくださる方を紹介します。 宗谷教育局義務教育指導班指導主事の 武田くるみ様です。 武田指導主事には、研究協議の最後にお話をうかがいたと思いますので、よろしくおねがいします。	
研究協議の進め方の説明	研究協議の進め方について説明します。 まず、本日の研究協議の柱について説明しますので、参観された先生方から柱に関わってのご意見、ご感想、改善点などをお話しいただき、交流したいと思います。 その後授業者の笹子先生から、研究協議で出た意見をもとに、ふりかえりを話してもらいます。 最後に、武田指導主事より、ご助言をいただきたいと思います。このように進めていきますのでよろしくお願いします。	○研究協議の柱を移動黒板に貼っておく。 ○研究協議の流れをはっておく
柱の説明	1つ目は、 「複式学級(少人数)の道德及び、考え、議論する道德にするための手立てはどうだったか。」です。 指導案の中に、本時の授業のポイントとして、内容項目を深く意識させ考えさせるために、本時のキーワードを先に示すことや、2学年の内容項目をそろえ、多様な考えに触れることができるようにしたことなど、いくつかの手立て挙げられています。 2つ目は、 「読解の工夫や生活との関連付けはどうだったか。」です。こちらについては、資料は黙読や大まかな内容の確認を行ったことや自分ごととして考え、今後の生活と結びつけるための「道德学習カード」の使用などが挙げられています。	※まず挙手してもらい、出なかったら一人ずつ順番に言ってもらおう。

研究協議	<p>どちらからでもかまいませんので、ご意見、ご感想、改善点などをお話しいただきたいと思います。意見がある方は、いらっしゃいませんか。</p>	
	<p>○澤</p> <p>①自分のこととして捉えるのがすごい大事だと思った。辞書で正直という言葉の意味を調べていた。正直について何%か問いかけ、子供たちが自分の体験を正直に話をしていて、1人1人に問いかけ、考えさせられることが少人数のよさ</p> <p>3年生1人だけで大変そうと考えがとまった時、去年学習した4年生の考えに触れることで考えがまとまったのが複式の良いところだと思った。</p> <p>②3年が4年生の意見を聞いてどのように意見が変わったかを4年生の学習のタイミングでワークシート書く活動があってもよかった。</p> <p>○塩原 昔は同内容の授業だった。学年ごとの異なる授業。内容項目を揃えて指導計画を構成しているところがあるほどと思った。導入、まとめが一緒というところが複式の授業構成の工夫の一つだなと思った。</p> <p>3年生の1人学級の対話的な学びについて、4年生(異なる学年)の考えに触れるというところが複式のメリットに感じられた。</p> <p>席の配置について、4年生の中に3年がいるのはどんな狙い？</p> <p>①全部先生との対話によって進んでいった。子供同士の対話で進むことがなかった。自分だったらどうするか、主発問に対し、教材と向き合って考える時間があるとよかった。</p> <p>○近藤 座席の配置について、普段側面黒板の方を向いて授業をしている。道徳の時は</p> <p>○笹子 座席の配置について、集中力、学力の問題、目の前でサポートできるようにであったり、周りの子からのサポートを受けられるように。</p> <p>書く活動について、書くのに物すごい時間がかかる学年、そのため、発問を減らしたり工夫していく中で、書く時間も少なくなっていた。</p> <p>○廣川 道徳を異なる内容でやること 45分間ずっと対話で行ったことがすごい。担任でない先生の授業で子供たちが思っ</p>	

	<p>たことを発言して考えていけたことがすごい。普段授業作りついでどんなことを意識しているのだろうか。 教材を読み取って理解することが大切だと思っていた。今日の授業で出てきたワークシートのあらすじがいいなと思いました。</p> <p>○笹子 道徳の授業って何を鍛える？という問いかけをした。道徳は心鍛えるということを伝えた。道徳の授業を進める意図やこんなことを考えてほしいということを最初に伝えた。言いやすい環境づくり、先生の失敗談を話すなど。 お話全部をみっちりやってしまうと国語になってしまう。教科書は考えるための材料として、自分ごととして捉えて考える時間を大切にしている。</p> <p>○廣川 道徳学習カードの振り返りで、今後どのような活かすかという項目がすごく良い。実践につながっていく取り組みになっている。 指導案では、自分の考えを発表すると書いてあったが、今回はなかった。</p> <p>○笹子 発表させるとサブ黒板の意見と同じになってしまう。そのため、発表は行わなかった。</p> <p>○塩原 教材文について、今日の授業であらすじで進めていった理由は時間的な理由？</p> <p>○笹子 自分ごととして考える時間を大切にしかつたから</p> <p>○塩原 サブ黒板では、短くまとまっていたが道徳カードでは、今後の生活への活かしについて書いてあった。ぜひ交流したら良いと思った。</p>	
	<p>最後に、柱以外の点でもかまいませんので、ご意見やご感想、今後の改善点などがあれば教えていただきたいと思います。いかがでしょうか。</p>	<p>まだ話していない人がいれば話していただく。</p>
	<p>○引地 大きな絵はがきの問いかけについて、前時の内容を使って深い学びにつながっていった。 普通に進めば正直に言わなきゃで終わるところが、深い考えになっていた</p> <p>○小島 担任ではないのに子供たちとの信頼関係がきちんと築かれている。担任と教科担任制がうまくマッチしている。 子供たちとの話し合いをさせてみたらもっとたくさんの考えが出たかも。その中で自分の考えが変様することもあったかもしれないと思った。</p>	

<p>授業者から 11:30くらい</p>	<p>つぎに、授業者より、今日の授業と研究協議を通しての振り返りを行います。笹子先生、お願いします。</p>	
	<p>○笹子 内容項目を揃える指導計画を作ることが大変 教材によっては内容によっては揃えられないので、他教科と合わせてやることも必要となってくる。そのため、必ずしも複式で一緒にやるわけではない。 先生方からたくさん意見をいただいたように、今後、子供たち同士で話し合う時間を作っていきたい。</p>	
<p>助言者から (20分程度) 11:35くらいから</p>	<p>最後に、武田指導主事より、ご助言をいただきたいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>ありがとうございました。</p>	
	<p>○道徳の授業作りについて、指導の明確な意図を持って指導案を考えることが大切。その上で子供の実態に合わせて、教材をどのように活用するか考える。</p> <p>○教材の心情理解、読解に時間をかけ過ぎていることが多い、子供たちが自分ごととして結び付けられていない授業が多い。</p> <p>○自分の価値項目の押し付けになってしまうことが多い。</p> <p>○読み物教材では、自分との関わりで考えを深める授業がよい。</p> <p>○他者と対話したりする学習を通して、物事を多面的、多角的に捉える授業がよい。</p> <p>○発問の工夫について、考える必然性や切実感のある発問や自由な思考を促す発問、物事を多面的、多角的に捉える発問。</p> <p>○今日の授業では正直の%や揺さぶりをかける問いかけで、子供たちが自分と関連づけて考えることができていた。</p> <p>○道徳的価値を自分の関わりの中で深めることが大切なので、最後にこれからどうしていきたいかワークシートに書いた物をみんなまで交流できるともっとよかった。</p>	

<p>おわりの言葉</p>	<p>これで、研究協議を終了します。たくさんのご意見等、ご協力ありがとうございました。</p> <p>連絡が2点あります。アンケートへのご協力をお願いします。実施要項の最後のページにアンケートの URL と QR コードが載っていますので、どちらかの方法で、回答をお願いします。</p> <p>また、昼食を取られる方は、そのままこの場でお取りください。</p> <p>以上です。本日はご参加ありがとうございました。お帰りの際は、お気をつけてお帰りください。ありがとうございました。</p>	
---------------	--	--

<管内研 まとめ>

○ 成果

- 同一内容項目での複式授業の形はある程度示すことができた。
- 児童ががっかり意見を言えていた。
- 児童が自分ごととして捉えることができていた。
- 児童に揺さぶりをかける発問があった。
- 導入で、テーマを焦点化したことで、考えやすくなった。
- スケールを活用することで、「今の自分」が見つめられた。
- 自分の思いを表現し、発表する場が多くあった。
- 教師の問いかけをきっかけに、児童同士で共感しながら授業が進んでいた。
- ワークシートを活用したことで、間接指導時に児童が自主的に学習を進められた。

● 課題

- 教材や自分と向き合う時間を十分に確保できなかった。
- 振り返り時間の交流は、教師で集めたものを読み上げてもよかった。
- 他の内容項目や行事などと絡めて、必要に応じて紹介しても面白いかもしれない